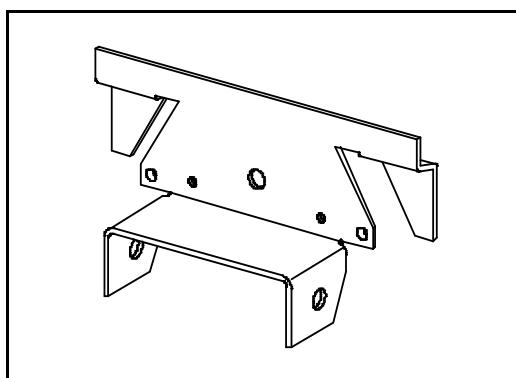


試験成績書
製品名：ソエルWカバー
試験項目：支持構造部方向 一軸加力試験



株式会社桐井製作所

開発部 開発グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキヨウサウスタワー5階

Tel: 03-4345-6005

Fax: 03-6895-0220

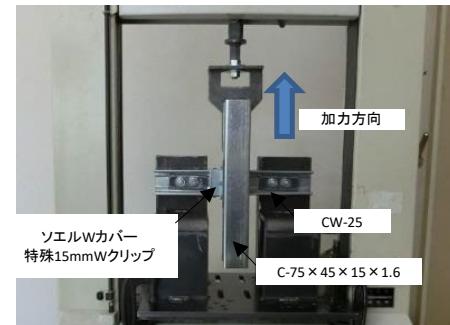
作成日: 2024/2/9
作成者: 濱崎 源記

検印	作成
(下氏)	(濱崎)

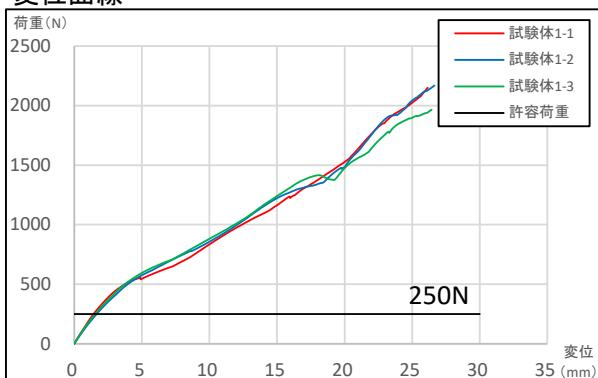
◇ 試験概要

品名 : ソエルWカバー
 試験項目 : 支持構造部方向引張
 試験機 : (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGS-JH
 試験速度 : 3mm/min
 試験体寸法 : 300mm × 300mm
 使用部材 : 支持構造部 : C-75 × 45 × 15 × 1.6
 野縁 : CW-25
 クリップ : 特殊15mmWクリップ
 クリップ補強金具 : ソエルWカバー
 ビス : JPF KIRII耐震ビスΦ4×16
 試験方法 : 試験架台に野縁(CW-25)を支持スパン150mmで固定し、支持構造部(C-75 × 45 × 15 × 1.6)と野縁をクリップ(特殊15mmWクリップ)とクリップ補強金具(ソエルWカバー)によって接合し、クリップ補強金具をビス(KIRII耐震ビスΦ4×16)3本で固定した。支持構造部に加力治具を固定し、鉛直上向きに加力した際の荷重とストロークを計測した。
 評価方法 : 試験結果から自社規定を定め、許容荷重250Nとした。

全景



◇ 荷重-変位曲線



加力時の状況



◇ 試験結果

	最大荷重 N	最大荷重時変位 mm	試験挙動
試験体1-1	2150	26.15	加力に伴い、野縁の立ち上がり部が倒れるように変形し、野縁側面のクリップ補強金具を固定するビスが引き抜けた。野縁の変形が進行するにつれて治具と野縁の立ち上がり部が接触したため、終局とした。
試験体1-2	2168	26.65	
試験体1-3	1965	26.44	
平均値	2094	26.41	
最大値	2168	26.65	
最小値	1965	26.15	

終局



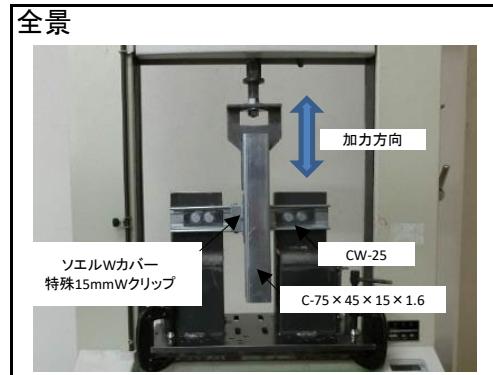
$$\therefore \text{許容荷重} = 250 \text{ N}$$

試験日 : 2018/1/23
 試験者 : 日吉 英雄

検印	作成
(下氏)	(濱崎)

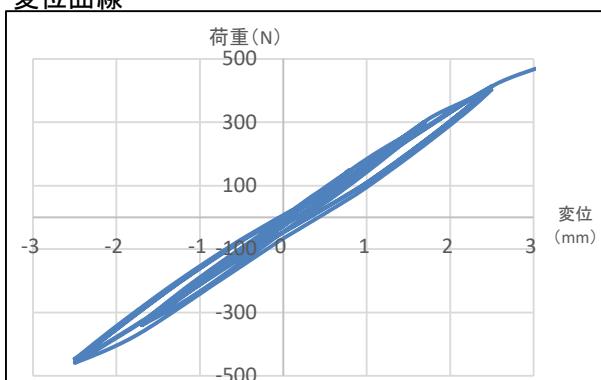
◇ 試験概要

品名	: ソエルWカバー
試験項目	: 支持構造部方向繰返し
試験機	: (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGS-JH
試験速度	: 3mm/min
試験体寸法	: 300mm × 300mm
使用部材	: 支持構造部 野縁 : C-75 × 45 × 15 × 1.6 クリップ : CW-25 クリップ補強金具 : 特殊15mmWクリップ ビス : ソエルWカバー JPF KIRII耐震ビスφ4×16
試験方法	: 試験架台に野縁(CW-25)を支持スパン150mmで固定し、支持構造部(C-75 × 45 × 15 × 1.6)と野縁をクリップ(特殊15mmWクリップ)とクリップ補強金具(ソエルWカバー)によって接合し、クリップ補強金具をビス(KIRII耐震ビスφ4×16)3本で固定した。 支持構造部に加力治具を固定し、野縁を鉛直上向きを正、下向きを負として繰返し変位毎に3サイクル加力し、このときの荷重とストローク変位を計測する。



繰返し変位	: 0.5D	: 0.8mm	-0.5D	: -0.8mm
	: 1.0D	: 1.7mm	-1.0D	: -1.7mm
	: 1.5D	: 2.5mm	-1.5D	: -2.5mm

◇ 荷重-変位曲線



◇ 試験結果

	0.5D変位時 荷重(N)		1.0D変位時 荷重(N)		1.5D変位時 荷重(N)		引き切り (N)	終局状況
	引張	圧縮	引張	圧縮	引張	圧縮		
0.8mm	-0.8mm	1.7mm	-1.7mm	2.5mm	-2.5mm			
1回目	147.9	-170.6	291.4	-340.2	401.8	-459.1		
2回目	147.3	-172.0	301.1	-339.5	413.0	-456.8	1931.5	加力に伴い、野縁の立ち上がり部が倒れる ように変形し、野縁側面のクリップ補強金具 を固定するビスが引き抜けた。野縁の変形 が進行するにつれて治具と野縁の立ち上 り部が接触したため、終局とした。
3回目	147.6	-171.3	299.7	-338.6	411.7	-454.3		

◇ 試験結果判定

・判定条件

$$1.5D \text{変位時最小試験力} > \text{一方向載荷より求めた} \times 0.8 \\ \text{損傷荷重}$$

・判定

引張方向 : 401.8 > 300.0 (= 375N × 0.8) → OK

圧縮方向 : 454.3 > 300.0 (= 375N × 0.8) → OK